

## (臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 当院における2型糖尿病治療注射薬チルゼパチドの効果に関する後方視的検討

[当院研究責任者] 部署名 内分泌・代謝内科 氏名 吉岡修子

[研究の背景と目的] チルゼパチドは強い血糖降下作用、減量作用を持つGIP/GLP-1受容体作動薬として注目されています。市販前調査だけでなく、リアルワールドデータにおいても10.4ヶ月の観察にてHbA1c-1.02%、体重-7.3kgと強い血糖、体重減少効果が示されていますが、市販前調査と比較すると減少幅は小さいです。また、市販前試験では血糖低下の要因として、若年者であること、糖尿病の罹患歴が短いこと、ベースラインのHbA1c低値であることなどがHbA1c<5.7%の達成に関連する要因とされていますが、実臨床における効果予測因子は依然不明な点が多いです。糖尿病、肥満症管理に大きな効果が期待されるチルゼパチドを有効に使用するために、効果、実臨床におけるチルゼパチドの効果と効果予測因子を検討することは大きな意義があります。この研究は、2型糖尿病治療目的に処方されたチルゼパチドの臨床像と効果を明らかにすることを目的とします。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

2023年4月以降、当院にてチルゼパチド処方を開始した2型糖尿病患者  
計198人

#### ●研究期間：実施許可から2026年5月まで

#### ●利用する検体、カルテ情報

年齢、体重、性別、生化学検査、処方内容

#### ●検体やカルテ情報の管理

データは当院のみで利用します。

### [研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

### [個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 内分泌・代謝内科 氏名 吉岡修子

---

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139